

安全な花火大会へ思い強く

実行委が
講習会 露店出店者らが受講

8月11日の花火大会は、24年からは市内有志による実行委が新たに主催しており、今年は市が共催する。講習会は事故を風化させ

市駅前町の市民交流プラザで、露店出店者への安全講習会を開いた。約50人が参加し、

福知山消防署予防課の吉良文雄予防担当課長から、火器の取り扱いの基本などを改めて教わり、安心安全な大会への思いを強くした。

2013年の露店爆発炎上事故を受けて休止されていた花火大会



露店出店者たちが講習を受けた

ず、出店者の安全意識の向上を図り、安全態勢を整えようと企画した。

花火は猪崎の由良川河川敷が打ち上げ会場で、露店は御霊公園と城下通りに計51店舗並ぶ。

吉良予防担当課長は、13年の事故を振り返った後、火器の取り扱いについて説明。火器を使う露店には業務用の消火器の設置が必要で、LPガスボンベは直射日光の当たらないところに置くなどの注意事項を伝え、「近隣の露店同士でもチェックを」と呼びかけた。熱中症への注意や市厚生会館がクールスポット

トとして使われることにも触れた。

また、今年は亀岡で

花火大会が開かれず、想定以上の人出になる可能性も指摘し、「万一、緊急車両が出動する場合は走路の確保が必要になります。もし、近くを救急車が通る場合は、人の誘導や周辺の安全確保に動いてもらえると助かります」とした。

最後に奥田実行委員長があいさつに立ち、「来てくれた人が良かったと思うてもらえる場所になりたい。みんなで一つになり事故の無い大会にするために、協力をお願いします」と力を込めた。

51店舗が御霊公園と城下通りに分散

露店は御霊公園に41店舗が並び、地元の食が集まるファーマーズ

テールズも開催。城下通りは沿道の空きスペースに10店舗が出店する。露店はいずれも午後3時から9時30分まで。フルーツあめ、かき氷、ステーキ、から揚げ、焼きそばなどがある。

広小路通りでは午後6時から6時30分まで、福知山踊振興会などによる福知山踊りの披露があり、午後9時から9時30分までは飛び入り参加もできる輪踊りをする。

広小路通りと周辺道路は午後3時から、城下通りと音無瀬橋は午後6時から通行止めになる。いずれも同10時まで。

(大槻晋之助)